

第 51 回 広域系統整備委員会議事録

日時 2021 年 1 月 19 日（火）18:00～19:05

場所 web 会議

出席者：

<委員>

- 加藤 政一 委員長（東京電機大学 工学部電気電子工学科 教授）
岩船 由美子 委員（東京大学 生産技術研究所 特任教授）
大橋 弘 委員（東京大学大学院 経済学研究科 教授）
木山 二郎 委員（森・濱田松本法律事務所 弁護士）
久保 克之 委員（株式会社三井住友銀行 ストラクチャードファイナンス営業部長）
坂本 織江 委員（上智大学 理工学部機能創造理工学科 准教授）
田中 誠 委員（政策研究大学院大学 教授）
松村 敏弘 委員（東京大学 社会科学研究所 教授）
森 厚人 委員（東海旅客鉄道株式会社 取締役 専務執行役員）
藤岡 直人 代理（関西電力送配電株式会社 工務部長）
花井 浩一 委員（中部電力株式会社 執行役員 経営戦略本部 計画部 部長）
松島 聡 委員（日本風力開発株式会社 常務執行役員）
柳生田 稔 委員（出光昭和シェル 執行役員 電力再エネ電源事業部長）
矢野 匡 委員（大阪ガス株式会社 理事 ガス製造・発電・エンジニアリング事業部
電力事業推進部長）

【関連事業者（議題 1 のみ参加）】

- 佐々木 孝浩 （北海道電力ネットワーク株式会社 執行役員 工務部長）
阿部 公哉 （東北電力ネットワーク株式会社 電力システム部 技術担当部長）
劉 伸行 （東京電力パワーグリッド株式会社 技術統括室長）

欠席者：

- 大久保 昌利 委員（関西電力送配電株式会社 執行役員 工務部・系統運用部担当）

配布資料

- 資料 1 : 北海道本州間連系設備に係る計画策定プロセスおよび東北東京間連系線に係る広域系統整備計画について
資料 2 : 計画策定プロセスの検討開始要件適否の状況について（報告）
資料 3 : 広域系統整備計画の進捗状況について（報告）
資料 4 : コスト等検証小委員会の検討体制の見直しについて（報告）

1. 北海道本州間連系設備に係る計画策定プロセスおよび東北東京間連系線に係る広域系統整備計画について

- ・事務局から資料1により説明を行った。
- ・主な議論は以下の通り。

[主な議論]

(花井委員) 国の審議会及び告示を踏まえ、北海道本州間連系設備および東北東京間連系線の費用負担割合を整理頂き、論点として2つ提示頂いた。いずれも、事務局案に異論はなく、この通り進めて頂ければよいと考えている。今後はマスタープラン検討委員会で検討頂いているマスタープランにて、増強と整理された基幹系統の流通設備にも全国調整スキームが適用されることになると考えている。これまで整理頂いた通り、本委員会では個別増強計画の具体的な工事計画における工事費や工期といった内容の妥当性を確認していくことになるので、引き続き、ご協力させて頂きたい。

(森委員) 32ページの報告の中で測量の結果として送電線の亘長が変わった、また線種が見直されたとあるが、軽微というのはどの程度の範囲を示しているのか。軽微というところで、工事費にほとんど影響がないのかどうかを教えてください。

(事務局) 基本的には工事費が計画値を超過する、工期が延びることがない限りは軽微な変更として扱っている。32ページに記載の内容やそれに伴うコストの増減は既にコスト等検証小委員会で妥当であることを確認頂いている。

(森委員) 全くコストが変更ないのはあり得ないと思うが、これは無かったのか。

(事務局) 32ページに記載の内容以外に事業実施主体によるコスト削減の取組も確認しており、全体の工事費は計画値よりも下がる見込みがあることを確認している。

(森委員) 承知した。

(坂本委員) 森委員の質問を聞いて感じたことだが、コスト等検証小委員会の方で専門的な観点から確認をされているのであれば、32ページに「妥当であることは確認済」と記載を頂くとよりいいのではないかと思う。

(事務局) 委員会の資料を見直し、公表資料を差替したい。

(佐々木オブザーバー) 本日は新々北本の工事完了時期や費用負担について整理頂き、感謝申し上げます。本年5月に予定されている広域系統整備計画の届け出以降、関係者と協議や設計・工事発注、工事実施等を進めて参りたいと思う。2028年3月の工事完了に向け、決して余裕がある工程ではないが、その完了予定時期に向けて進めて参りたい。工程を順守していく上において、今後議論の場となるコスト等検討小委員会においても引き続き、ご指導・ご協力をお願いしたい。

(劉オブザーバー) 本日はオブザーバーとしてお招き頂き、感謝申し上げます。この度、広域系統整備計画として新たに全国調整スキームが適用される初めての案件となるが、委員の先生方をはじめ、国・広域機関さま、事務局の皆様方のこれまでのご尽力に対して、改めて御礼申し上げます。弊社としても、この度、事業実施主体にご指定頂くことを踏まえ、東北電力ネットワー

ク様とも連携させて頂きながら、着実に工事を進めて参りたいと考えている。引き続き、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

(阿部オブザーバー) 全国スキームに関する国の告示にて示された内容を基に、費用負担の考え方について整理頂き、感謝申し上げます。東北東京間連系線の増強および新々北本増強の工事実施主体として、今後、広域系統整備計画を決定頂き次第、しっかり工事を進めて参りたい。東北エリアは既に東北東京間連系線の増強、また東北北部エリアの電源接続募集プロセス等の 50 万 V 系統整備等、基幹系統の整備工事が輻輳している状況ではあるが、工程面等工夫を凝らしながら新々北本の運開にも影響がないようにしっかり努めて参りたいと思うので、今後ともご指導のほどよろしくお願いしたい。

(加藤委員長) 新々北本増強の工事完了時期、また東北東京間連系線増強に関する工事実施主体の見直しについては、事務局の提案に対して異論が無かったので、提案通り進めて頂きたい。

2. 計画策定プロセスの検討開始要件適否の状況について（報告）

- ・事務局から資料 2 により報告を行った。
- ・特段の意見なし。

3. 広域系統整備計画の進捗状況について（報告）

- ・事務局から資料 3 により説明を行った。
- ・主な議論は以下の通り。

[主な議論]

(森 委 員) 12 月末時点の状況報告だが、1 月に入り再度、緊急事態宣言が各地に出されている。メーカーと話す機会があり、前回と今回の緊急事態宣言への対応の違いを確認すると、今回の緊急事態宣言の方が動きにくい場面もあると言われるメーカーもある。今回の緊急事態宣言により施工に対して何か影響がでそうな所が既に判明しているのであれば、教えて頂きたい。

(事 務 局) 今の所そういった話は各社から聞いていないが、何かあれば次回以降の委員会で報告させて頂きたい。

(森 委 員) 承知した。そうなってほしくはないが、長期的になりそうな予感もする。そうなると工程面にも影響が出てくると思うので、情報があれば早めに教えて頂きたい。

4. コスト等検証小委員会の検討体制の見直しについて（報告）

- ・事務局から資料 4 により報告を行った。
- ・主な議論は以下の通り。

[主な議論]

(坂本委員) コスト等検証小委員会も重要になってきていると思うので、この段階で拡充を図ることは全く異論が無く賛成したい。その上でとても細かい点になるが、4ページの3ポツ目で「今回の体制見直し合わせ、公平性確保の観点から事業者委員を廃止する」と記載されている。この記載について、これまでは公平ではなかったのかと疑問に思ったので事務局から補足頂きたい。一般送配電事業者には長い知見の積み重ねがあるので、特に特定の会社のみが参加していたからといって不公平だったということはなく、むしろ今後の競争を見据えての記載だと思うが、念のため伺いたい。

(事務局) これまでは一般送配電事業者が事業者委員として入っていたが、事業者委員として入っていると外から偏った議論がされているのではないかという見方もされかねないので、今回の見直しに合わせて、委員の方は大学の先生のみとした。なお、一般送配電事業者の方は固定メンバーではないが、必要によりオブザーバーとして招集をかけることとしており、このような表現とさせて頂いた。

(坂本委員) 承知した。もう1点コメントになるが、コスト低減に関して良い取り組みがある場合にはそれが共有されていくことも大事だと思う。委員会資料も公表されていると思うが、色々な方法で、他の事業者にも共有されるように引き続き取り組みをお願いしたい。

(加藤委員長) 議題によっては、一般送配電事業者もオブザーバーとして参加することはあるとの理解でよいか。

(事務局) その通り。一般送配電事業者も含め、事業者は必要により議論に参加頂くことで考えている。

(加藤委員長) 議決権はないが意見を述べることができるオブザーバーとして参加頂くことでよいか

(事務局) その通り。

(加藤委員長) 承知した。

(岩船委員) 本日の内容に関してはしっかり整理されておりコメント等はないが、今後、コスト等検証小委員会が新体制になるので、新小委員長の田中様に一言頂いてはどうか。

(田中委員) これまでも加藤小委員長のもとでコスト等についてじっくり確認してきたが、その重要性が更に増している。今回、委員の体制も変わったので、引き続きコスト等について精査をしていきたいと考えているので、ご協力・ご意見等をお願いしたい。

(寺島理事) ご意見を伺い最後に一言申し上げたい。新々北本増強の整備計画、また東北東京間連系線の費用負担について、国の整理を踏まえ広域機関で費用負担を整理し、本日ご審議頂いたことに、感謝申し上げます。事業実施主体の方から、「今後もしっかりと整備を進めていくこと」、更には「コストダウンに向けた努力をすること」も表明されたので、広域機関としても広域系統整備計画をここまで進めてきた立場として、しっかり計画が推進されていくように対応して参りたいので、引き続きご審議のほどよろしくをお願いしたい。あわせてコスト等検証小委員会についても色々ご意見を頂いた。田中新小委員長からもお話を頂いたが、広域機関としても今後この系統整備の重要性を鑑み、しっかりコスト等の検証に頑張っていきたいと思うので、引き続きご審議をお願いしたい。

(加藤委員長) これにて本日の議事は全て終了となったので、第 51 回広域系統整備委員会を閉会する。
どうもありがとうございました。

—了—